

目の前にあの国宝

甦る日本の至宝展

最先端のデジタル技術と伝統の技
二つの技の融合が生み出した

「高精細複製文化財」

——時代の息遣いが今ここに

平成24年
9月12日[水]～10月30日[火]

九州巡回展：熊本・大分・鹿児島・福岡・長崎
入場料：一般 500円(税込) 高校生以下 無料
開場時間：10時～19時(金・土は、19時30分/入場は閉場30分前まで)

主催：各百貨店 共催：京都文化協会
後援：各展示会場により異なります
協力：裏千家/大木山建仁寺/大乘寺/大徳寺聚光院/豊国神社/名古屋城/
大木山南禅寺/二条城/大木山妙心寺

国宝 風神雷神屏風(高精細複製部分)
佐原清達筆 大木山建仁寺蔵

甦る日本の至宝展

屏風や襖絵といった日本古来の文化財の中には保存の為に、限られた期間以外の公開を行えないものが数多く存在します。このため、私達がこうした作品を目にする機会が少なく、なかなか鑑賞する事が出来ません。今回こうした貴重な作品をご覧頂く機会として、高精細複製文化財による展覧会の開催を実現いたします。京都の社寺をはじめとした所蔵者様から特別に貸し出し許可を頂いた、選りすぐりの作品、全十三点を展示いたします。

—— 高精細複製文化財 ——

最先端のデジタル技術による、高精細印刷と京都伝統の手技。二つの技の融合により生み出された、時代の息遣いすら感じさせる複製品です。

最先端の高精細印刷により出力された本紙は、伝統工芸士の手により本金箔が施されます。施された金箔は、経年劣化による古色の風合いをも再現されます。その後、京の表具士により屏風や襖に仕立てられます。こうした幾重にも渡る工程を経て、オリジナルと寸分違わぬ高精細複製文化財は作られます。

本展覧会では、誰もが知っているあの国宝達をガラスケース無し、目前でご覧頂けます。

狩野探幽

狩野永徳

狩野山楽

巨匠達 —— 夢の競演

菱川師宣

狩野内膳

円山応挙

長谷川等伯

「龍門鯉魚図」円山応挙筆 重要文化財「歌舞伎図屏風」菱川師宣筆 *全て高精細複製文化財 重要文化財「松鷲図」狩野探幽筆 重要文化財「龍虎図屏風」狩野山楽筆 重要文化財「豊国祭礼図屏風」狩野内膳筆 国宝「花鳥図襖」狩野永徳筆 大徳寺聚光院蔵

協力：裏千家/大木山建仁寺/大乘寺/大徳寺聚光院/豊国神社/名古屋城/大木山南禅寺/二条城/大木山妙心寺

関連イベント

ギャラリートーク、建仁寺僧侶による講話、金箔実演、伝統工芸士裕人礫翔の世界展など
※会場により異なります